

●顕現後第三主日

泉のほとり

今月の詩編「第五十二編」

御名に望みをおきます

あなたの慈しみに生きる人に対して

恵み深いあなたの御名に。



天からの光が

新約聖書の多くの手紙を記し、偉大な伝道者として知られるパウロ。しかし、かつての彼は「サウロ」と呼ばれ、律法を厳格に守るファリサイ派に属し、613もの戒めがあるとされる律法の規定を細部に至るまで守り、人一倍熱心に神に仕えていたのです。

その中で、初代教会のステファノがユダヤ人によって捕えられ、「この男は神殿と律法を貶している」と偽りの告発を受けます。ステファノが旧約聖書に基づいた説教を語っても、サウロは彼の処刑に賛同しました。石打刑を受ける中、ステファノが「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と執り成しながら死んでいく姿を目の当たりにしても、教会こそが神を冒瀆する存在と信じてやみません。彼は「脅しと殺意を息する」ほどに、教会を滅ぼすことに全身全霊をかけ、神から託された使命であるかのように振る舞っていたのです。

なおも主の弟子たちを捕らえるため、ダマスコへ向かう道中、天からの光に照らされ、「なぜわたしを迫害するのか」というイエスの御声を聞きます。自分が神のために戦っていると思っていた相手こそが、実は神の御子であり、自分こそが神に敵対する者であったという衝撃的な事実を突きつけられました。

目が見えなくなったサウロは、ダマスコで三日間、過ごします。その間、何も食べることも、飲むこともなかったのです。人生のすべてを賭けて積み上げてきたものが根底から否定され、実は、神に背き続けていたという絶望的な現実。その暗闇の中で、彼は自らの罪の深さと向き合っていたのです。彼の心の奥底には、どれほど痛みを伴おうとも真実を受け入れ、悔い改める「素直な心」がありました。

主は、そのサウロの元に、自分の弟子アナニアを遣わされました。アナニアが手を置き、語りかけると、サウロ

の目から鱗のようなものが落ち、元通り見えるようになったのです。これまでは自分のことが全く見えなかった、しかし、3日間を経て、今や霊的な目が開かれ、自らの罪、姿がはっきりと見えたのです。主の前に、全ての罪と悪を悔い改めて、洗礼を受けました。そして、3日ぶりの食事を口にしました。罪人の中の罪人にも備えられている食事。自分が神に敵対していた間でも、主が日々糧を与え、生かしてくださっていた、憐れみと忍耐を知り、涙と共にその恵みを噛み締めていたのではないのでしょうか。

サウロの回心の出来事を通して、人の闇について考えさせられます。自分は正しく歩んでいると思いつつも、知らず知らずのうちに神の御心から離れて歩んでいる、その自分のことに全く気づかない危険性がある、人の危うさを教えられるのです。日々の歩みの中で、主の前にいま自分がなしていること、語っている言葉は本当に正しいか、御心になっっているかと自らをかえりみていきたいと思えます。そして、その中で、わたしたち人にとって最も必要なのは、まことの光であるイエス・キリストに照らされ、自分の罪や誤りが明らかにあった時、それを素直に認め、悔い改める心です。

救い主イエスは、罪人が一人として滅びることなく、悔い改めへと導かれることを願っておられます。主はこの世の闇、人を照らすまことの光として、来てくださいました。罪人を生かし、罪から完全に救い出すために来てくださったのです。その主をこの世に与えられた天の父の御心を心に刻み、なお日々の食事や生活のすべてが、罪人を養い、生かそうとする深い恵みと憐れみによるものであることを覚えていきたいと思えます。

(使徒九章一〜一九節 宮間彰広 兄)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

- 礼拝後、一二時三〇分から教員懇談会を地下ホールで行います。教員はご参加ください。
- 二〇二六年度の役員・委員被選挙有資格者名簿を配布しました。次週の役員候補者推薦の会で使用しますので、ご確認の上、ご持参ください。
- イースターに受洗、転入会をご希望の方は、二月八日(日)までに牧師宛願書をご提出下さい。願書は事務所にあります。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《コイノニア教育センター

有志の方々より》

ーコイノニアグッズ販売のお知らせー
来週、ケニアのママたちが作ったバッグやポーチなど、色鮮やかなコイノニアグッズとスイーツを販売いたします。
子ども礼拝の後と主日礼拝の後、それぞれ二〇分ほど、ディアコニアショップのそばでの販売です。
どうぞお立ち寄りください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇五十二篇】指揮者によって。マスキール。

ダビデの詩。 エドム人ドエグがサウルのもとに来て、「ダビデがアヒメレクの家に来た」と告げたとき。

力ある者よ、なぜ悪事を誇るのか。

神の慈しみの絶えることはないが

お前の考えることは破滅をもたらす。

舌は刃物のように鋭く、人を欺く。

お前は善よりも悪を

正しい言葉よりもうそを好み

人を破滅に落とす言葉、欺く舌を好む。

神はお前を打ち倒し、永久に滅ぼされる。

お前を天幕から引き抜き

命ある者の地から根こそぎにされる。

これを見て、神に従う人は神を畏れる。

彼らはこの男を笑って言う。

「見よ、この男は神を力と頼まず

自分の莫大な富に依り頼み

自分を滅ぼすものを力と頼んでいた。」

わたしは生い茂るオリーブの木。

神の家にとどまります。

世々限りなく、神の慈しみに依り頼みます。

あなたが計らってくださいますから

とこしえに、感謝をささげます。

（司・会）

御名に望みをおきます

あなたの慈しみに生きる人に対して恵み深い

あなたの御名に。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神さまがイスラエルを救われる」

聖書 エステル記5章1～14節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「自分のこととして見る心」

聖書 ネヘミヤ記1章5～11節

説教者 宮間彰広 兄

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 15番 80番

説教 「偶像化の禁止」

聖書 出エジプト20章4～6節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 80番 79番
説教 「ほかの神があつてはならない」
聖書 出エジプト20章1～3節(旧約 P.126)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「いざ我が魂よ、主をほめよ」D.7°クステフデ

○讃美歌80番

1.わが主の御業は ことごと正し

妙なるみむねに 凡てを任せん
主はわが神なり ともしき時の
わが助けなり

2.わが主の御業は ことごと正し

うえなき真理は とわに変わじ
暗きはひかりを よし隠すとも
いかでか恐れん

3.わが主の御業は ことごと正し

たえなる御旨を 今は知らねど
忍びて待ちなば さ霧もはるる
あしたはきたらん

4.わが主の御業は ことごと正し

あらしの中にも 安けく憩わん
主はわが父なり なやめる時の
わがすくいなり

アーメン

○讃美歌79番

1.ほめたたえよ つくりぬしを

きよきまえにひれふし
ささげまつれ 身をも魂をも
たぐいなき御名をあがめて

2.くすしきかな かみのちから

あらぶる波をしずめて
あやうきより 御民を守り
この世のなやみに勝たしむ

3.めぐみの神 さかえの主を

もろごえあげてたたえよ
つよき手もてみちびきたもう
主にのみみさかえつきざれ

アーメン

聖餐曲「我ら皆唯一の神を信ず」S.シャイト

後奏曲「オルガン協奏曲ト短調より（アンダンテ）」

G.F.ヘンデル

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。